



平成 29 年 5 月 12 日
総合政策局国際政策課(グローバル戦略)
土地・建設産業局国際課

末松国土交通副大臣のガーナ共和国出張の結果概要

～「日・ガーナ官民インフラ会議」の開催等～

末松国土交通副大臣は、5月3日から4日まで、ガーナ共和国に出張し、我が国が提唱する「質の高いインフラ投資」への理解促進と、我が国インフラ関連企業の現地進出を支援するため、アフリカ・インフラ協議会企業を同行して、相手国政府と共催で官民インフラ会議を開催するとともに、先方の政府要人と会談を行いました。

末松国土交通副大臣は、TICAD VI^(注)の成果を踏まえ、我が国が提唱する「質の高いインフラ投資」への理解を促進するとともに、我が国インフラ関連企業の現地進出を支援するため、アフリカ・インフラ協議会企業を同行して、ガーナ共和国を訪問し、相手国政府と共催で官民インフラ会議を開催しました。

「日・ガーナ官民インフラ会議」では、主催者としてのオープニング・スピーチ(冒頭挨拶)をはじめ、先方政府のインフラ整備を担当する閣僚との間で、「質の高いインフラ投資」推進及び協力関係の継続に係る覚書に署名し、関係者による定期的な意見交換の場となる「質の高いインフラ対話」を立ち上げ、政策対話を継続することで合意しました。

また、先方政府要人ととの会談を通じ、ガーナにおける「質の高いインフラ投資」推進に向けてボルタ川橋梁建設事業、テマ港拡張事業及びテマ交差点立体化事業等のインフラ分野における日本企業の貢献に向けたトップセールスを実施しました。

さらに、我が国の無償資金協力により本邦インフラ関連企業が設計・監理、施工する野口記念医学研究所先端感染症研究センター起工式に出席するとともに、バウミア副大統領を表敬訪問してアフリカ・インフラ協議会企業の幹部を紹介しました。

会議等の概要は、別紙のとおりです。

(注) TICADとは、Tokyo International Conference on African Development(アフリカ開発会議)の略であり、アフリカの開発をテーマとする国際会議です。1993年以降、日本政府が主導し、国連、国連開発計画(UNDP)、アフリカ連合委員会(AUC)及び世界銀行と共同で開催しています。2016年8月27～28日には、ケニア・ナイロビにて第6回アフリカ開発会議(TICAD VI)が開催されました。同会議は、初めてのアフリカ開催であり、日本からは安倍晋三内閣総理大臣が出席し、ケニヤッタ・ケニア大統領(開催国)、デビー・イトゥノ・チャド共和国大統領(AU議長)と共に共同議長を務めました。

<問い合わせ先>

総合政策局 国際政策課(グローバル戦略) 大澤、星川(内線:25205、25216)
(TEL) 03-5253-8111、(直通)03-5253-8314、(FAX) 03-5253-1562

1. 日・ガーナ官民インフラ会議

- (1) 日時：平成29年5月4日(木) 9:30～
- (2) 場所：ガーナ共和国 アクラ市内 ラパームホテル
- (3) 主催：(日本側)国土交通省 (ガーナ側)道路高速道省
- (4) 参加者：両国で約350名

(日本側の主な出席者) 国土交通省(末松副大臣、海堀建設流通政策審議官、森官房参事官)、吉村在ガーナ日本大使、星JICAガーナ事務所長、宮本アフリカ・インフラ協議会会長(清水建設 代表取締役会長)、アフリカ・インフラ協議会の本邦インフラ関連企業(建設、コンサル、商社、メーカー等 25社)、JETRO(日本貿易振興機構)他 約80名

(ガーナ側の主な出席者) アモアコ・アタ道路高速道大臣、ダパー国家安全保障大臣、グローバル運輸副大臣、アドゥオミ道路高速道副大臣、カルボ道路高速道副大臣、プレンペ労働住居副大臣、アロテ在京ガーナ大使、現地インフラ関連企業他

(5) 概要:

① オープニング・スピーチ(冒頭挨拶)

会議冒頭、アモアコ・アタ道路高速道大臣、末松国土交通副大臣、グローバル運輸副大臣、吉村在ガーナ大使、プレンペ労働住居副大臣、宮本アフリカ・インフラ協議会会長(清水建設 代表取締役会長)、ダパー国家安全保障大臣より、挨拶を行いました。

<末松国土交通副大臣の挨拶概要>

1927年に黄熱病研究のために我が国から渡航し、今も多くの皆様の尊敬を集めている野口英世博士に象徴されるように、長きにわたり友好関係を維持・発展させ、本年は外交関係樹立60周年となった。今回、そのような素晴らしい機会に、官民インフラ会議を開催できたことは大変喜ばしい。西アフリカ諸国経済共同体(ECOWAS)の中で地理的にも経済的にも中心に位置し、高い経済発展が見込まれるガーナは、道路・橋梁や港湾などのインフラ整備は急務。都市化の進展に対応し、渋滞対策や生活環境の整備も重要。インフラ需要への対応にあたり大切な視点が『インフラの質』。本日の会議は、日本企業25社が出席し、塗装の必要がない橋梁鋼材、迅速かつ効率的な道路舗装技術などの先端技術や工法のみならず、施工時の環境配慮や安全管理、工期遵守など我が国の誇りとする取組や経験を共有する。友好的な二国間関係を維持してきた両国民、両国がインフラ分野で更なる協力関係を構築・発展していくことを祈念。

末松副大臣のオープニング・スピーチ



オープニング・スピーチ(冒頭挨拶)の後、基調講演、署名式、カンパニーセッション(企業紹介)、ワークショップ及びビジネスマッチングを実施しました。

② 基調講演

基調講演においては、国土交通省海堀建設流通政策審議官より「日本の質の高いインフラ」、ガーナ投資促進庁ラートリー局長より「ガーナにおけるインフラ投資環境」、JICAガーナ事務所星所長より「ガーナにおけるJICAの協力プログラム」、ガーナ国家開発庁トンプソン局長より「ガーナにおける運輸インフラ開発」のプレゼンテーションを実施しました。

③ 署名式(「質の高いインフラ投資」推進及び協力関係の継続に係る覚書に署名・採択)

末松国土交通副大臣は、アモアコ・アタ道路高速道大臣及びグローバル運輸副大臣との間で「質の高いインフラ投資」推進及び協力関係の継続に係る覚書に署名・採択しました。覚書においては、「質の高いインフラ投資」の推進に向けて、「日・ガーナ官民インフラ会議」の後も対話を継続するため、定期的に意見交換する枠組み「質の高いインフラ対話」(“Quality Infrastructure Dialogue”)を立ち上げ、対話を継続することで合意しました。また、本邦インフラ関連企業2社も、ガーナ建設業協会(ABCECG)及びガーナ道路建設業協会(ASROC)との間で、インフラ分野に関する協力の覚書に署名しました。

署名式

(末松国土交通副大臣とアタ道路高速道大臣及びグローバール運輸副大臣との協力関係の継続を約束)



日本及びガーナの代表



④ カンパニーセッション(企業紹介)

カンパニーセッションにおいては、我が国インフラ関連企業(アフリカ・インフラ協議会)25社の代表が登壇し、会社紹介や「質の高いインフラ投資」の実績等についてプレゼンテーションを実施しました。

⑤ ワークショップ

参加者の関心に応じ、「建設業における協力」「質の高いインフラの最先端技術」のテーマに分かれてワークショップを開催し、日本企業やガーナ企業等からのプレゼンテーションの後、活発な質疑応答、意見交換が実施されました。

⑥ ビジネスマッチング

日本企業が個別のブースに分かれ、関心を有するガーナ企業等と面談を実施しました。活発な情報交換を行い、日本企業とパートナーとなり得るガーナ企業等との間で関係構築を行いました。

ワークショップの様子



ビジネスマッチングの様子



2. ガーナ共和国政府要人とのバイ会談(5月3日)

末松国土交通副大臣は、アモアコ・アタ道路高速道大臣、アドゥオミ道路高速道副大臣及びグローバル運輸副大臣と会談を行い、TICAD VIの成果等を踏まえ、「質の高いインフラ」投資推進に向けた協力関係を強化することで一致しました。また、ボルタ川橋梁建設事業やテマ交差点立体化事業等のインフラ分野における日本企業の貢献に向けたトップセールスを実施しました。さらに、同行した我が国インフラ関係企業等(アフリカ・インフラ協議会)を紹介しました。

アモアコ・アタ道路高速道大臣、アドゥオミ道路高速道副大臣及びグローバル運輸副大臣は、日本の訪問団を歓迎するとともに、独立及び外交関係樹立60周年の機会に今回の官民インフラ会議を開催でき、時宜を得たものであり、意義深いものになると日本への期待を表明しました。また、覚書に基づき、会議のフォローアップとして11月に「質の高いインフラ対話」を行うことを確認しました。

バイ会談の様子



3. 野口記念医学研究所先端感染症研究センター起工式への出席(5月3日)

末松国土交通副大臣は、本邦インフラ関連企業が設計・監理、施工し、我が国の無償資金協力により実施される野口記念医学研究所先端感染症研究センター起工式に出席しました。ガーナ大学内にある野口記念医学研究所では、ヤンカ大学教育大臣及びメヌ保健大臣が日本の訪問団を歓迎するとともに、アジェイ・メンサ ガーナ大学副総長やアロテ在京ガーナ大使から感謝の辞を述べられました。その後、施工予定地視察、テープカット・記念植樹、本研究センターの建築に関わる日本企業との意見交換等を実施しました。

記念植樹



施工予定地視察



3. バウミア副大統領を表敬訪問(5月4日)

末松国土交通副大臣は、バウミア副大統領を表敬訪問し、「日・ガーナ官民インフラ会議」が成功裡に開催されたこと、野口記念医学研究所先端感染症研究センター起工式に出席したことを報告しました。また、同行した我が国インフラ関係企業(アフリカ・インフラ協議会会員)を紹介しました。

バウミア副大統領を表敬訪問

